## 豊岡市全体の財務4表

#### ○貸借対照表【平成23年3月31日現在】

(単位:百万円)

<b>少其旧为派及【</b>				- I-	(華歴:日2717)	
資産の部				負債の部		
1.	公共資産		1.	固定負債		
	(1)有形固定資産	345,271		(1)地方債	122,464	
	(2)無形固定資産	247		(2)長期未払金	0	
	(3)売却可能資産	6,046		(3)長期未払金	0	
2.	投資等			(4)引当金	9,479	
	(1)投資及び出資金	1,682		(5)その他	0	
	(2)貸付金	1,002				
	(3)基金等	10,201	2.	流動負債		
	(4)長期延滞債権	1,379		(1)翌年度償還予定地方債	10,888	
	(5)その他	0		(2)短期借入金	46	
	(6)回収不能見込額	△ 273		(3)未払金	700	
3.	流動資産			(4)翌年度支払予定退職手当	0	
	(1)資金	9,671		(5)賞与引当金	418	
	(2)未収金	1,134		(6)その他	9	
	(3)販売用不動産	72		負債合計	144,004	
	(4)その他	20		純資産の部		
	(5)回収不能見込額	0		—————————————————————————————————————	232,472	
4.	繰延勘定	24			232,472	
	資産合計	376,476		負債及び純資産合計	376,476	

#### 〇行政コスト計算書

(単位:百万円)

【自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日】

経常費用				
1.	人にかかるコスト			
	(1)人件費	8,153		
	(2)退職手当引当金繰入等	892		
2.	物にかかるコスト			
	(1)物件費	6,919		
	(2)維持補修費	712		
	(3)減価償却費	9,552		
3.	移転支出的なコスト			
	(1)社会保障給付費	17,825		
	(2)補助金等	5,290		
	(3)他会計等への支出額	3,310		
	(4)他団体への公共資産整備補助金等	761		
4.	その他のコスト			
	(1)支払利息	2,673		
	(2)回収不能見込額	87		
	(3)その他行政コスト	408		
	合計(a)	56,582		
	経常収益			
1.	27371 3 2011	1,347		
2.	分担金·負担金·寄付金	6,434		
3.	保険料	3,768		
4.	事業収益	3,486		
5.		50		
	合計(b)	15,085		

## 純経常行政コスト(a-b) 41,497

**○純資産変動計算書** (単位:百万円) 【自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日】

	//   -//
期首純資産残高	228,488
純経常行政コスト	△ 41,497
一般財源	31,606
補助金等受入	12,876
臨時損益	△ 87
出資の受入・新規設立	969
無償受贈資産受入	0
その他	117
経費負担割合変更に伴う差額	0
期末純資産残高	232,472

## **〇資金収支計算書** (単位:百万円)

【自 平成22年4月1日 至 平	<del>"</del> 成23年3月31日 】
経常的収支の部	15,170
支出合計	44,396
収入合計	59,566
公共資産の部	△ 2,004
支出合計	7,391
収入合計	5,387
投資・財務的収支の部	△ 13,174
支出合計	15,958
収入合計	2,784
当期収支	Δ8
翌年度繰上充用金増減額	46
経費負担割合変更に伴う差額	0
期首歳計現金残高	3,740
期末歳計現金残高	3,778

#### (注)総務省方式改訂モデルで作成

端数処理のため、各数値の合計と合計欄が数値が一致しないことがある。 関連団体ごとに、決算書類、決算統計等を活用し、普通会計財務書類4表に準じて作成後、

豊岡市全体財務書類との連結(合算、相殺等)を行いました。

## 貸借対照表対前年度比較(豊岡市全体)

(単位:百万円)

			(単位:日ガロ)
資産の部	H22年度末	H21年度末	增減(H22-H21)
1. 公共資産			
(1)有形固定資産	345,271	347,723	△ 2,452
(2)無形固定資産	247	252	△ 5
(3)売却可能資産	6,046	6,805	△ 759
2. 投資等	·	·	
(1)投資及び出資金	1,682	1,684	△ 2
(2)貸付金	1,002	1,077	△ 75
(3)基金等	10,201	10,086	115
(4)長期延滞債権	1,379	1,378	1
(5)回収不能見込額	△ 273	△ 294	21
3. 流動資産			
(1)資金	9,671	9,081	590
(2)未収金	1,134	1,079	55
(3)販売用不動産	72	72	0
(4)その他	20	14	6
(5)回収不能見込額	0	0	0
4. 繰延勘定	24	34	△ 10
資産合計	376,476	378,991	△ 2,515
負債の部			
1. 固定負債			
(1)地方債	122,464	131,509	△ 9,045
(2)引当金	9,479	9,628	△ 149
2. 流動負債	·	·	
(1)翌年度償還予定地方債	10,888	8,455	2,433
(2)短期借入金	46	27	19
(3)未払金	700	443	257
(4)賞与引当金	418	428	△ 10
(5)その他	9	13	△ 4
負債合計	144,004	150,503	△ 6,499
純資産合計	232,472	228,488	3,984
負債及び純資産合計	376,476	378,991	△ 2,515

○市民一人当たり資産額:資産合計/住民基本台帳人口 H22年度末:376,476百万円/87,946人=4,281千円 H21年度末:378,991百万円/88,641人=4,276千円

○市民一人当たり負債額:負債合計/住民基本台帳人口 H22年度末:144,004百万円/87,946人=1,637千円 H21年度末:150,503百万円/88,641人=1,698千円

〇純資産比率:純資産総額/資産総額

H22年度末:232,472百万円/376,476百万円=61.75% H21年度末:228,488百万円/378,991百万円=60.29%

※純資産比率とは将来世代と現世代との間の負担割合を示します。

・純資産比率の増加:現世代が自らの負担によって将来世代も利用可能な資源を蓄積

・純資産比率の減少:現世代が資源を消費して便益を享受し、将来世代へ負担を先送りする

地方債残高の減少により、負債合計の減少と純資産合計の増加につながっています。 また、資産合計は減少しているものの住民基本台帳人口も減少したため、普通会計と同様に市民一人 当たり資産額、負債額、純資産比率の数値は好転しています。

## 行政コスト計算書対前年度比較(豊岡市全体)

(単位:百万円)

	H22年度末	H21年度末	増減(H22−H21)
経常費用	56,582	56,796	△ 214
1. 人にかかるコスト	9,045	10,008	△ 963
(1)人件費	8,153	8,321	△ 168
(2)退職手当引当金等繰入等	892	1,687	△ 795
2. 物にかかるコスト	17,183	16,865	318
(1)物件費	6,919	7,087	△ 168
(2)減価償却費	712	613	99
(3)維持補修費	9,552	9,165	387
3. 移転支出的なコスト	27,186	26,613	573
(1)社会保障給付	17,825	16,189	1,636
(2)補助金等	5,290	6,367	△ 1,077
(3)他会計等への支出額	3,310	3,501	△ 191
(4)他団体への公共資産整備補助金等	761	556	205
4. その他のコスト	3,168	3,310	△ 142
(1)支払利息	2,673	2,823	△ 150
(2)回収不能見込額	87	114	△ 27
(3)その他行政コスト	408	373	35
経常収益	15,085	14,029	1,056
1. 使用料•手数料	1,347	1,130	217
2. 分担金・負担金・寄附金	6,434	5,815	619
3. 保険料	3,768	3,568	200
4. 事業収益	3,486	3,452	34
5. その他特定行政サービス収入	50	64	△ 14
経常行政コスト(経常費用-経常収益)	41,497	42,767	△ 1,270

〇市民一人当たり行政コスト:経常行政コスト/住民基本台帳人口

H22年度末:41,497百万円/87,946人=472千円 H21年度末:42,767百万円/88,641人=482千円

〇市民一人当たり人件費・物件費等:(人にかかるコスト+物にかかるコスト)/住民基本台帳人口

H22年度末: 26,228百万円/87,946人=298千円 H21年度末: 26,873百万円/88,641人=303千円

○受益者負担の割合:経常収益/経常費用

H22年度末:15,085百万円/56,582百万円=26.66% H21年度末:14,029百万円/56,796百万円=24.70%

普通会計と同様に、対前年度比で市民一人当たり行政コストと市民一人当たり人件費・物件費、受益者負担の割合の全ての数値が改善しています。理由は行革による人件費の削減や物件費の削減が考えられます。

# 純資産変動計算書対前年度比較(豊岡市全体)

(単位:百万円)

			(TE: 1771 )/
	H22年度末	H21年度末	増減(H22−H21)
期首純資産残高	228,488	223,389	5,099
純経常行政コスト	△ 41,497	△ 42,767	1,270
一般財源	31,606	31,505	101
補助金等受入	12,876	14,141	△ 1,265
臨時損益	△ 87	60	△ 147
その他	1,086	2,160	△ 1,074
期末純資産残高	232,472	228,488	3,984

# 資金収支計算書対前年度比較(豊岡市全体)

	H22年度末	H21年度末	増減(H22−H21)
1. 経常的収支	15,170	13,684	1,486
支出合計	44,396	46,079	△ 1,683
収入合計	59,566	59,763	△ 197
2. 公共資産整備収支	△ 2,004	△ 1,044	△ 960
支出合計	7,391	9,960	△ 2,569
収入合計	5,387	8,916	△ 3,529
3. 投資・財務的収支	△ 13,174	△ 13,222	48
支出合計	15,958	16,189	△ 231
収入合計	2,784	2,967	△ 183
当期収支	Δ 8	△ 582	574
翌年度繰上充用金増減額	46	20	26
期首歳計現金残高	3,740	4,302	△ 562
期末歳計現金残高	3,778	3,740	38